

特徴

北米原産でキク科のひまわりの花言葉は「あこがれ」「光輝」。観賞用から食用としてもこの有機の花は、その鮮やかな太陽色の花びらと形の揃った美しさが、世界中で愛されています。この花から採れる種は次の種は次の年にも120~140センチの高さとなり、直径10~12センチの美しい花をまた咲かせることができます。



育て方

【用土】

水もちのよい肥沃な土が適しています。また、日当たりの良い場所を好むので、日光が十分に当たるような場所（1日7~8時間は日が当たるような場所）が理想的です。



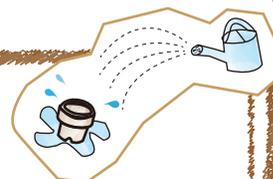
【植え付け】

発芽温度（最適）20℃程度

- 軟らかい土に1センチほどの穴を作り、1粒ずつ種を押し込むように植えてその上に土をかぶせます。直蒔きでもプランターでも50~60センチほど間隔をとるようにしましょう。

【水やり】

- 種蒔き後は発芽するまで朝晩たっぷり水を与えましょう。
- 基本的に乾燥には強いですが、発芽後は土の表面が乾いたら水やりをするようにしましょう。



【間引き】

- 間引きは不要です。



【追肥】

- 肥沃な土であれば追肥の必要はありません。肥料は与えすぎないようにしましょう。



【その他注意点】

種蒔き時期は4月~6月ですが、発芽温度は20℃以上ですので地域によっては注意が必要です。